

リハビリテーション室長就任の挨拶

信頼と挑戦の文化を未来へつなぐリハビリテーション室

リハビリテーション室 室長 萩森 康孝

このたび、平井前室長の後任としてリハビリテーション室長を拝命いたしました。前室長が2年半にわたり大切に育まれた「協力・協調・共有」という理念、そして常に誠実で温かい姿勢、ブレなかった信念に、心から敬意と感謝を申し上げます。その歩みがあったからこそ、私たちのリハビリテーション室は確かな信頼と結束を築いてこられました。

今後、私が大切にしたいのは「文化を育てる」という姿勢です。制度や仕組みだけでなく、日々の言葉や挨拶、行動、そして互いを思いやる空気こそが、組織の未来を形づくると考えています。特に、心理的安全性の向上はその中核を成すものであり、安心して意見を交わし、挑戦し、失敗すら学びに変えられる風土をスタッフと共に育てていきたいと考えています。

そして私たちの根底には、「患者さん・家族のために」という揺るぎない原点があります。どんな挑戦も学びも、この思いと結びついたとき、真の価値を持ちます。

また、合言葉を作りました。「信頼・笑顔・情熱・継続・チャレンジ」です。これは単なるスローガンではなく、未来へつなぐ私たちの文化そのものです。スタッフ一人ひとりがセラピストとしての誇りを胸に、働き甲斐を確かに感じられる“息づいた文化”を、皆が協力し、着実に育ててまいります。今は、仕事量を増やすとともに、個人の質をより重要視できる「チャンスの時期」だと思っています。

前室長の想いを真摯に受け継ぎながら「人が育ち、人を活かし、患者さん・家族に寄り添うリハビリテーション室」を未来へとつなぐため、これからも全力で努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



医療事務部長就任の挨拶

病院経営に貢献できる医療事務部を目指して

医療事務部 部長 藤田 尚保



この度、医療事務部の部長職を拝命いたしました藤田尚保です。

歴史と実績ある当院において、重責を担わせていただくことに、身の引き締まる思いでございます。その責任の重さを真摯に受け止め、職務に邁進する所存です。

現在、医療事務部は入院課、外来課、情報管理課、医事企画課、健診課、臨床支援課に分かれ、それぞれが専門性を発揮しながら病院運営を支えています。各課の連携強化を図り、組織としての総合力を一層高めてまいりたいと考えております。

私自身、平成8年に入職して以来、外来、入院、健診、情報管理業務など多岐にわたる業務を経験し、諸先輩方や同僚から多くのご指導を賜りながら研鑽を重ねてまいりました。これまで培った経験を礎に現場の声に耳を傾け、実効性ある改善に取り組んでまいります。

急性期医療を担う当院の事務部門として、患者さんに

安心と信頼をお届けできる医療提供体制を支え、医療現場の業務が円滑に進むよう、正確性・迅速性・誠実さをもって責務を果たしてまいります。

また、制度改革やICT化の進展、地域包括ケアの推進など、医療を取り巻く環境が大きく変化する中、業務の見直しや改善にも継続的に取り組み、人材育成にも力を注ぎながら、互いに支え合い、安心して働ける職場づくりを進めていきたいと考えております。

物価高騰、少子高齢化、収入減や経費増加など、病院経営を取り巻く状況は厳しさを増しておりますが、課題から目を背けることなく、一つひとつ丁寧に向き合い、組織の継続と発展に微力ながら貢献していきたく思います。

謙虚さと感謝の気持ちを忘れず、与えられた職責を誠実に果たしてまいりますので、今後とも皆さまのご指導とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。